

■ISO9001:2015 改正情報

品質マネジメントの国際規格 ISO9001 が改正される予定です。今すぐにはではなく、2年後の2015年の話です。前回の改正は2008年でしたので、7年ぶりとなります。国際規格は時代環境によりその内容が定期的に見直しされる決まりになっていますが（原則は5年ごと）、今回の改正はかなり大がかりなものになりそうです。現在はまだWD（working draft 作業原案）段階ですが、2015年の正式な国際規格発行まで順次進行して行きます。

（国際規格発行までのスケジュール）

2013年3月	改正会議（ブラジル・ペテオリゾンテ）
2013年4月	作業原案（WD）回付
2013年6月	委員会原案（CD）投票
2013年11月	改正会議
2014年5月	国際規格原案（DIS）投票
2014年7月	最終国際規格案（FDIS）投票
2015年9月	国際規格（IS）発行

（1）内容はどう変わるか？

1987年に最初の国際規格ISO9001が発行されて以来、さまざまな国際規格が誕生し、現在は世界で100万件を超える認証取得件数に至っています。さまざまな規格が世界に広まる反面大きな問題も生じていました。ひとつはOutput Mattersと呼ばれているもので、ISO9001を組織に導入しても、顧客の期待に応えられる製品の品質が必ずしも達成できていないという問題です。またこのマネジメントシステムは、規格が違えども内容がほぼ同じの要求事項が少なくありません。例えば方針、文書・記録管理、責任と権限、内部監査、マネジメントレビュー、教育訓練などです。ところが各々の規格の要求事項の内容が少し違うことから利用者に混乱を与えていました。そこでそれらの混乱を解消するために、規格の整合性を図り、マネジメントシステムの基本構造が「付属書SL」としてまとめられることになりました。この基本構造は以下の内容で、各々の規格は本構造をもとに設計され、特有の要求事項はこれに付加されることとなります。

1. 適用範囲	5.1 リーダーシップコミットメント	7.3 認識	9.2 内部監査
2. 引用規格	5.2 方針	7.4 コミュニケーション	9.3 マネジメントレビュー
3. 用語及び定義	5.3 責任・権限	7.5.1 文書一般	10.1 不適合・是正
4.1 組織及びその状況	6.1 リスク及び機会	7.5.2 作成・更新	10.2 継続的改善
4.2 利害関係者のニーズ	6.2 ××計画・策定	7.5.3 文書化情報管理	
4.3 ××適用範囲	7.1 資源	8.1 運用の計画・管理	
4.4 ××マネジメントシステム	7.2 力量	9.1 パフォーマンスの監視・測定・分析・評価	

（国際規格共通の基本構造 ××は品質、環境などの特有の用語が挿入される）

(2) future concepts (2008~2011 の次期 ISO9001 改正に向けての意見・見解)

この改正に向け、日本の ISO 国内委員会で審議されたものを「ポジションペーパー」としてすでに ISO 本部に提出済みです。この中で強調されたのは、ISO9001 を導入しても顧客の期待に応えられないという現実もあり、以下の3項目を改正 ISO9001 に盛り込んで欲しいとして要求。

1) 固有技術の向上

顧客が求める製品は QMS だけでは不足で、レベルの高い固有技術があってはじめて実現できることから、固有技術の向上を要求事項として追加する。

2) 仕組みの意図的な不順守やヒューマンエラーを防ぐ

折角の仕組みも社員に順守されなかったり、ヒューマンエラーが多発するようでは効果は発揮できない。そこでそれらを防ぐ要求事項を追加する。

3) パフォーマンスの要求事項

QMS が実施・運用されたとしても製品の品質が良くならなければ顧客の期待に応えられないことから、パフォーマンスについて P-D-C-A を回す要求事項を追加する。

DAS ジャパン から

■恒例の審査員研修会

DAS ジャパンに登録されている審査員同士の交流を深め、かつ審査員のレベルアップを図る目的で「第9回審査員研修会」が、アウルスポット（東池袋 ライズアリービル3F）で開催されました（2013年4月6日）。今回の主旨は、認証機関が順守すべき規格である「ISO17021」の知識の習得と理解を深めることでした。認証機関は、審査での公平性や倫理観、審査員の力量向上、機密保持、定められた審査手順の順守などたくさんの要求事項がこの規格に定められています。代表の萩原からの説明に続き、審査員同士の活発な意見交換が行われ参加者全員の力量向上が達成されたとのこと。修了後飲み会があり、参加者全員が出席という DAS ジャパンの団結の強さがそこにはありました。



萩原代表



熱心に聞き入る審査員

(編集責任者 萩原由利)



ISO 認証機関 DAS ジャパン (株)

代表取締役 萩原睦幸

豊島区東池袋 4-27-5 LP 池袋 903

info@das-japan.jp

<http://www.das-japan.jp>